



ダメ！絶対！ いじめ防止ガイダンス

西崎中学校
校長 宮城 義隆



四月二十一日(月)、一学年フロアにて「第一回いじめ防止ガイダンス」を開催しました。前半の学年集会では古謝生徒指導主事からいじめの定義や近年の特徴などの説明があり、更に西崎中では誰一人として被害者にも加害者にもしたくない、という熱い思いが語られました。後半は各学級に戻り、「いじめを防止するために何が出来るだろうか?」の問いに対して活発なディスカッションが展開されました。

ここで各学級の話し合いで決定した、「いじめ防止宣言」を紹介いたします。

【一組】「私たち一年一組は見て見ぬふりをせず、きちんと注意する。」

【二組】「朝の会で一人ぼっちに声をかける。」

【三組】「一つの言葉でいじめができないで仲良くする。」

【四組】「悪口を言わず、いじめができないで言葉づかいに気を付けて、みんな助け合います!」

【五組】「生徒の振り返りでできそうだと感じた。年間、いじめが無いクラスにみんなできそうだと感じた。もし、いじめがあっても解決できる雰囲気をつくりたい」など、前向きな感想が多数ありました。

(※二年も開催済み、三年は後日、開催予定)

校長の独り言④

「話す」と「語る」について

私たち教職員は授業を含め、人前で話をする機会が多い。話をする際には、筋道を立てて、論理的に分かりやすく説明することを心掛けている。だがしかし、分かりやすい説明だけで十分なのだろうか…

話は変わるが皆さんは「話す」と「語る」の違いを考えたことがあるだろうか?これらの言葉の正式な意味は置いて、私なりの解釈を紹介しよう。

「話す」…「舌」が「言」う。つまり、感情が入らない事実や状況の説明など。

「語る」…「吾」が「言」う。つまり、自分自身が本当に感じていることを思いを込めて自分の言葉で伝えること。

私は校長として全校集会や保護者会など、人前で話すことが多いが、その際はきれいごとではなく、自分自身が本当に感じていることを自分自身の言葉で熱く「語りたい」と思っている。その方が自分自身の「思い」が伝わり、その結果として子どもたちの成長に繋がることを信じて…

だがしかし、子どもたちが本当に求めている最高に嬉しい校長の話。

それは…「短い話」(チャンチャン)苦笑

九州の地で躍動! 第十回九州中学選抜卓球大会

四月十九日(土)から熊本県で開催された九州大会に卓球部の上原結南さん、池尻恵蓮さん、染井芽育華さん、當間彩未さん、国吉詠楼さん、高江洲愛姫さん、新城久琉美さん、外間さくらさんが出場しました。

惜しくも勝利を挙げることができませんでした。ですが、結南さんから「全員の経験値や技術が上がったと思う。地区中体連向けの意識が高まった」と、前向きな感想がありました。



素敵な演奏に酔いしれる! 吹奏楽部ミニコンサート

四月二十一日(月)、音楽室にて吹奏楽部によるミニコンサートが開催されました。演奏曲は「テトリス」と「愛を込めて花束を」の二曲で、会場は大いに盛り上がりました。また、吹奏楽部の真桜さんから「楽器名称クイズ」が出題され、参加者の知識も広がりました。吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏、ありがとうございました。



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして